

う え だ 市議会だより

令和6年9月定例会
令和6年11月15日号

No.99



一般会計決算特別委員会全体会の様子



アンダーアーマー菅平サニアパーク



アンダーアーマー菅平アリーナ

議会トピックス CONTENTS

- 議員 25 人が市政を問う
- テーマ別車座集会 参加者募集
- 市議会だより第100号への
メッセージ募集

令和5年度一般会計決算を審査しました！

今号では、決算議会である9月定例会の報告を中心にお届けします。
(写真の説明は裏表紙の編集後記をご覧ください)

目次

令和6年9月定例会概要	2-5
常任委員会・一般会計決算特別委員会分科会 審査概要	6-9
9月定例会一般質問	10-18
請願・陳情の審査 / 市議会だより第100号へのメッセージ募集	19
テーマ別車座集会参加者募集 / 編集後記	20



令和5年度一般会計決算額
歳入総額 795 億円
歳出総額 769 億円

会 期 9月2日から10月2日まで (31日間)

議 案 条例案5件、決算認定11件、予算案3件、事件決議案11件、報告1件、人事案件1件、意見書2件、合計34件を全て可決、認定、適任または承認と決定

一般質問 25人の議員が一般質問を実施 ▶▶▶ 質問要旨はP10から掲載

附帯意見

3 人事行政について

令和4年度上田市職員の新規採用において、多くの内定辞退者が見られた。採用試験の実施時期や募集方法についてさらに研究すること。

市の取組

特に人材の確保が困難となっている土木技師について、令和6年度から早期募集枠を新設し、通常5月に行う募集を3月から開始し、6月上旬には内定を出せるよう早期の人材確保に努めました。

補正予算

令和6年度一般会計補正予算 第3号を審査

可決



〔上田市の予算〕



補正予算(第3号)の主な事業をピックアップ

常任委員会での審査
概要はP6-7に掲載

公有財産管理事業 10億2,033万円

土地開発公社で保有している土地を一般会計で買い戻し、一元的管理および未利用土地の利活用促進を図る。

- ・知的障害者福祉施設等整備事業用地 (岩下)
- ・新泉池跡地住宅団地造成事業用地 (小泉)
- ・南天神町常田線・上田駅南駅前線代替地 (五加)
- ・上田バイパス二期代替地 (住吉)

介護予防・生活支援事業 116万円

認知症伴走型支援拠点の設置・運営に係る経費の計上。

児童手当支給事業 3億1,515万円

児童手当の抜本的拡充 (①所得制限の撤廃、②高校生年代までの支給期間の延長、③第3子以降を月3万円とする) に伴う経費の追加計上。

放課後児童クラブ運営事業 280万円

放課後児童クラブにおける性被害防止対策に係る備品購入費の計上。

U I J ターン就業・創業移住支援事業 2,540万円

市内企業等の担い手不足の解消および地域課題の解決ならびに移住の促進のため、U I J ターンによる就業・創業者に対する補助金の追加計上。

工場等設置事業補助金 917万円

市内民間用地を取得し、工場の増設等の設備投資を行った企業に対する補助金の追加計上。2年間の分割交付となるため、令和7年度の支払い分についても、同額の債務負担行為を設定。

- ・補助率 [用地取得] 増設 1.0/10 以内
[工場設置] 増設 1.5/10 以内
- ・補助予定 1件

空家等対策推進事業 450万円

地域住民の生活に支障を及ぼす危険のある特定空家等の行政代執行による除却経費の計上。

上田城跡整備事業 2,810万円

旧市民会館解体に向けた工事請負費の計上。
令和8年度にかけて実施する旧市民会館解体に係る事業費について、3億410万円の債務負担行為を設定。

9月定例会 概要

令和5年度一般会計・特別会計 決算を審査

※金額の一万円未満は四捨五入しています。

決算

令和5年度一般会計決算を審査

認定



(上田市の決算)



決算審査とは・・・

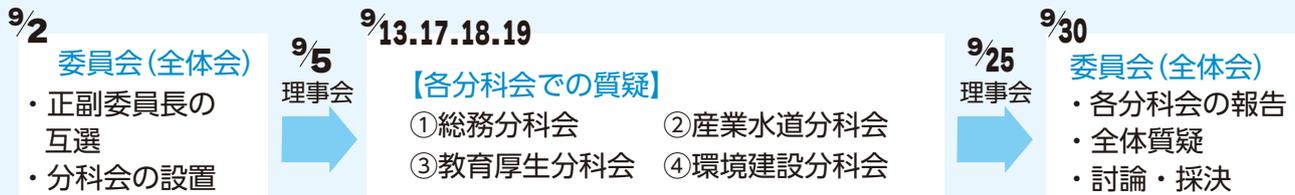
令和5年度の予算が適切に使われたか審査します。

各分科会での審査概要はP 8-9に掲載

上田市議会では、一般会計決算特別委員会を設置し、4つの分科会に分かれて決算審査を行っています。

一般会計決算特別委員会 委員長：久保田 由夫 副委員長：松山 賢太郎 委員：議長、監査委員を除く 24名の議員

「一般会計決算特別委員会」審査の流れ



クローズアップ！検証

令和4年度一般会計決算認定に際し、付した附帯意見に対する市のその後の取組はどうなった？

附帯意見

1 未利用財産の活用について

自主財源を確保し健全な行財政運営を確立すること。

- ア 長期保有土地について、保有継続、売却処分および貸し付けなど、市としての方向性を速やかに検討すること。
- イ 長期間活用されていない基金について、さらなる基金の活用を推進すること。

2 不納欠損処理及び収入未済額の縮減について

令和4年度から施行された上田市債権管理条例の適切な執行により、回収不能な債権は不納欠損処理を早期に行うなど、さらなる収入未済額の縮減を図ること。

また、雑入における収入未済額の増加について、関係部署の連携により改善を図ること。

市の取組

- ア 令和5年度から未利用財産に係る利活用方針を庁内横断的に協議する土地利用検討会議を再開し、懸案土地4件、新規取得土地2件に係る検討を行いました。
- イ 令和6年度当初予算において、これまで取り崩しが行われてこなかった基金から計2,000万円余を繰り入れ、予算計上しました。

全庁が一体となって適切な債権管理を行うことができるよう上田市債権管理基本方針を策定しました。回収不能となった債権について、庁内に設置した債権処理審査会で審査し、令和5年度は1億2,085万円余の不納欠損処理をしました。令和4年度と比較し、収入未済額は2億2,914万円余の縮減となりました。

事件決議

教師用指導書購入(追認)など 全11件

可決

- ◆教師用指導書の購入(追認)(契約金額:2,207万円)
- ◆教師用指導書の購入(追認)(契約金額:2,220万円)
- ◆教師用指導書の購入(追認)(契約金額:4,178万円)
- ◆教師用指導書の購入(追認)(契約金額:3,544万円)
- ◆公有財産の無償譲渡 2件
- ◆訴えの提起
- ◆字の区域の変更
- ◆御所沢防災調整池整備工事請負契約の締結
(契約金額:1億6,551万円)
- ◆アスファルト飛散による物損事故に係る和解

附帯意見を付す

教師用指導書の購入4件の追認議案において、内部統制の観点から、下記の事項についてそれぞれ時機を逸することなく確実かつ速やかに取り組まれるよう教育厚生委員会の総意として強く要請する。

1. 予算の執行体制及び契約事務について全庁的に点検を行うこと。
2. 具体的な再発防止策を講じること。

9月定例会 賛否の分かれた議案

◆議案第71号 上田市国民健康保険条例中一部改正

令和6年12月2日に健康保険証が廃止されることに伴い、国民健康保険法から引用する条項のずれを改める等、所要の改正を行うもの。

◆議案第89号 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更

令和6年12月2日に健康保険証が廃止されることに伴い、長野県後期高齢者医療広域連合規約における広域連合および市町村が行う事務を変更するため議決を求めるもの。

採決結果

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長（議長は表決に加わりません）

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	欠員	泉 弥生	村越 深典	中村 知義	武田 紗知	飯島 裕貴	古市 順子	松尾 卓	金沢 広美	松山賢太郎	高田 忍	西沢 逸郎	矢島 昭徳	堀内 仁志	石合 祐太	斉藤 達也	齊藤加代美	井澤 毅	久保田由夫	池上喜美子	半田 大介	原 栄一	宮下 省二	金井 清一	飯島 伴典	池田総一郎	佐藤 論征	土屋 勝浩	尾島 勝	欠員	
第71号		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

条例改正

上田市真田温泉健康ランドふれあいさなだ館 条例等中一部改正など 全5件

可
決

◆上田市真田温泉健康ランドふれあいさなだ館条 例等中一部改正

令和6年1月に策定した「公の施設における使用料等の考え方」に基づき、公の施設の使用料および利用料金を改定するため、所要の改正を行うもの。

◆上田市地域包括支援センターの包括的支援事業の人員等に関する基準を定める条例中一部改正
介護保険法施行規則の一部改正により、地域包括支援センターの職員配置基準が緩和されたため、これに準じて、所要の改正を行うもの。 他2件

意見書

「2件」の意見書を可決し、国へ提出 しました。



【意見書全文】



【義務教育の一層の充実を求める意見書】

要旨 国において、義務教育の一層の充実に向け、下記2項目について実施するよう要望する。

- 1 教員業務支援員等の学校業務を支援する支援スタッフを配置する上で必要となる財源を確保すること。
- 2 学校施設の整備に必要な財源を確保するとともに、学校施設環境改善交付金を各自治体の実情に合わせて弾力的に運用できるように改善すること。

【女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書】

要旨 国において、女性の人権保障、女性差別撤廃の取組を強化し、ジェンダー平等社会の形成を促進するため、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准することを要望する。

意見書とは… 地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のこと。

報告

専決処分した交通事故に係る調停に代わる 決定の承認

承認

人事案件

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること について

適任

(敬称略)

もりや もとみ (踏入)
守屋 元美

みやじま のりお (秋和)
宮島 範雄

まるやま くにしこ (腰越)
丸山 邦彦

ながい のりゆき (西内)
永井 紀幸

請願・陳情の審査は P19 に掲載

総務委員会

産業水道委員会

●9月13日・17日に開催し、決算認定1件、予算案1件の審査を行いました。

土地取得事業特別会計決算認定

問 一般会計からの繰入金として、天神二丁目の旧教育委員会やぐら下庁舎用地費に対する返済金の一部2,346万円余を繰り入れたとのことだが返済金の残額はどうか。また、繰入金金の財源はどうなっているか。

答 返済金の残額は3億8,241万円余となっている。繰入金金の財源については、例年、長野地方法務局上田支局等に対する3カ所の土地の貸し付けに伴う収入を充てている。

一般会計補正予算第3号

問 藤原田地籍にある5筆の土地を隣接土地所有者へ売却することに伴う権利消滅補償料について、過去からの取り決めにより共有地に係る売却金額の9割を補償料として地元自治会へ支払うとのことだが取り決めの経過はどうか。

答 当該土地は、昭和61年に丸子町が造成を行った中尾工業団地の一画に位置しており、造成を行う際に藤原田自治会との共有地が含まれていたことから、当時、丸子町と藤原田自治会の間で売却金額の配分割合について取り決めをしたものである。

●9月18日・19日に開催し、条例案1件、決算認定3件、予算案2件の審査を行いました。

上田市真田温泉健康ランドふれあいさなだ館条例等中一部改正

問 上田市農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）について、料金改定に伴い増収となった場合、指定管理料への影響はどうか。また、今回公の施設の使用料を上げることについて、市民の負担を増やすためではなく、持続可能なサービスを提供していくことが目的であるとして、市民に周知する必要があると考えるがどうか。

答 増収となった場合、直ちに指定管理料を減額するのではなく、

増収分は施設の適切な運営、維持管理に活用する方針である。また、今後長く各施設を利用していただくために市民の理解を得ることは重要であり、ホームページや広報紙でお知らせするとともに、各施設においてもしっかりと周知していく。

水道事業会計決算認定及び剰余金処分

問 令和5年度の管路更新率は0.13%で、このままでは管路の更新が終わらないと考えるが、管路更新率の数値目標はあるか。

答 管路について80年から100年の間に一回更新をしていくには、毎年度1%ずつ更新する必要がある。予算等も考慮しながらできる限り更新率を上げていきたい。

常任委員会の審査概要

本会議での委員長報告ほか↓





「常任委員会」では、条例、特別会計決算、補正予算、事件決議など一般会計決算以外の議案の審査を行いました。

●9月13日・17日、10月2日に開催し、条例案3件、決算認定5件、予算案2件、事件決議案5件、報告1件、陳情5件の審査を行いました。

国民健康保険事業特別会計決算認定

問 特定健診の受診率について、初めて40%台に達したとのことだが、受診率向上のために主にどのような取り組みをしてきたか。

答 令和4年度に引き続き民間事業者を活用した受診勧奨のほか、集団健診の実施日を4日増やし、国民健康保険の新規加入者等への電話による受診勧奨を行うとともに、上田市医師会・小県医師会の各医療機関に、通

院者への受診勧奨を行っていただくよう依頼した。

一般会計補正予算第3号

問 放課後児童クラブについて、国の「保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業補助金」を活用し、児童のプライバシー保護と性被害防止対策として備品購入費280万円が計上されているが、どのような備品を購入するか。

答 国からはパーテーションや簡易扉、防犯カメラ、簡易更衣室等が例示されており、補正予算成立後、各施設の購入希望を取りまとめ、教育委員会で一括購入し各施設に配付するが、防犯カメラに関しては保護者の同意を条件に購入する。

●9月18日・19日、10月2日に開催し、条例案1件、決算認定1件、予算案1件、事件決議案6件、請願1件の審査を行いました。

一般会計補正予算第3号

問 U-Jターン就業・創業移住支援事業において、U-Jターンによる移住者に対する補助金の追加計上をしているが、どのような状況か。また、今後の補正の考え方はどうか。

答 4月から6月にかけて受け付けをしたところ17件の補助申請があり、当初予算の上限に達したため、今回追加補正をお願いした。その後も移住者から20件以上の相談が寄せられている状況であり、さらなる補正の必

要性の有無については、今後、県や他市町村の状況を踏まえ、判断していきたい。

問 上田城跡整備事業で、810万円計上されているが、どのような内容か。

答 上田城跡公園の武者溜りの整備に伴う旧市民会館解体に向けた工事であり、本年度は北観光駐車場からテニスコートを通って旧市民会館まで至る工事車両の搬入道路の整備を行うものである。旧市民会館の解体工事は、今年度末から令和8年までかかる予定である。

総務分科会

●9月13日・17日に開催しました。

問 自主防災組織防災用資器材購入補助金について、利用状況はどうか。また、未利用の組織への働きかけはどうか。

答 令和3年度末には未利用組織が25あったが、通知を行うなどの働きかけを行った結果、令和5年度末には16まで減少した。令和6年度には新たに4組織で購入をいただいた結果、3年間で未利用組織の50%以上を解消することができている。今後未利用組織に対して直接的な働きかけを続け、利用を促していきたい。

問 歳入について、財政状況が厳しい中、歳入増加の取組を戦略的

に進めるべきと考えるがどうか。

答 歳入確保のため、政策企画部や財政部を中心に全庁で未利用土地の売却や基金の活用などに努めており、さらに、市長を先頭に職員が積極的に企業へ足を運び、ネーミングライツ導入のほか、サントミューゼパートナーズ企業の協賛金や寄付をいただくなどの成果もあげている。今後、市内企業をはじめ、市外・県外からのふるさと納税や企業版ふるさと納税など、歳入増加につながるさまざまな取組を積極的に行っていくいきたい。

サントミューゼ
パートナーズ企業
募集



産業水道分科会

●9月18日・19日に開催しました。

問 東信州連携産業振興事業負担金について、上田市負担金が令和4年度と比較して約200万円増えているが理由は何か。

答 当事業については、上田市が旗振り役となり東信州エリア10市町村と、東信州次世代産業振興協議会を設立した経過があり、また事業への参加者の多くが上田市内の企業となっている。令和5年度に当事業において、デジタル田園都市国家構想交付金を受けることができたことを好機と捉え、事業をさらに推進するため上田市負担金を増額した。

問 交流文化芸術センターの修繕費

について、毎年少しずつ増えてきていると感じるが傾向はどうか。また、今後予想される大規模修繕について、大規模なものを分散して修繕していくという視点が必要と考えるが見解はどうか。

答 ここ数年、修繕費は増えてきており、この増加傾向は今後も続くと考えている。開館から10年がたち、修繕箇所も増え、設備や機器の更新の時期を迎えていることから、施設管理に対する経費がかかってくる。また、計画的に修繕をしていくことは重要だと認識しており、修繕や更新が必要なものをリストアップするなど、大規模修繕も見据えて計画的に対応していきたいと考えている。



「一般会計の決算議案」は特別委員会を設置し、その中に常任委員会を単位とする分科会を設けて審査を行いました。

●9月13日・17日に開催しました。

問 エアコン設置支援事業補助金の

近年の実績はどうか。また、熱中症で救急搬送される高齢者の増加が社会問題となっており、エアコン設置を進めるためには補助限度額5万円は少ない。来年度以降も猛暑が続くことが想定される中、早急に対策を取るべきと考えるがどうか。

答

実績は令和4年度37件、令和5年度44件、令和6年度は現在47件の応募があり、若干増加傾向にある。また、電気料金の高騰によりエアコンの使用を抑える方もいると考えられるため、電気料金高騰への対策を含めて市長会を通じて国や県に要望するなど対応していきたい。

問 内科・小児科初期救急センター

について、小児科における受診者数がコロナ禍前の実績に近づいているが、どのように評価しているか。また、同センターが傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を決めるトリアージを専門としていることについて、しっかりと周知すべきと考えるがどうか。

答

小児科には、上田市医師会、小児科医師会および信州大学等から医師を登録・派遣していただいているが、電話相談を含め、受診された患者に適切に対応してきていると考える。また、トリアージについては、広報等により周知を行っているが、医療機関の適切な受診方法も含めてさらに周知していきたい。

●9月18日・19日に開催しました。

問 高齢者自転車用ヘルメット購入補助金について、昨年度

200万円の補正をしているが、執行率が低かった原因をどう分析しているか。

答

自転車に乗る際のヘルメット着用の努力義務が施行された昨年4月前後は、購入費助成申請が大幅に増加したため、6月に補正予算を計上した。その後例年程度に申請が減少してしまったことが原因である。独自の調査では、上田市での着用率は1割程度の低い水準にあり、今後交通安全のためにも啓発に力を入れていきたいと考えている。

問 消防団員の確保や負担軽減について、どのような取組を行ったか。

答

消防団員確保については、企業に対しては経営者が集まる会合等において、また、自治会に対しては自主防災のリーダー研修の際に、それぞれ消防団の重要性や役割等を説明し、消防団員確保の協力をお願いした。さらには、大学や専門学校に赴き、学生団員への入団募集の依頼を行った。消防団員の負担軽減については、出初式等の式典の時間短縮やポンプ操法大会等の訓練の実施期間の短縮などの取組を行った。

教育厚生分科会

環境建設分科会

消防団員募集



25人の議員が市政を問う

9月定例会一般質問要旨

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

答弁者役職	略称	答弁者役職	略称
市長	市長	教育長	教育長
政策企画部長	政策企画	総務部長	総務
市民まちづくり推進部長	市民まち	環境部長	環境
福祉部長	福祉	健康こども未来部長	健康こども
産業振興部長	産業振興	文化スポーツ観光部長	文化スポーツ
都市建設部長	都市建設	丸子地域自治センター長	丸子センター
武石地域自治センター長	武石センター	上下水道局長	上下水道

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載していません。会議録は、議事事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。なお、一般質問は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。

インターネットの生中継、録画配信専用サイトはこちら。



学びの在り方

半田 大介 公明党

問 夜間中学または^{*}信州オープンドアスクールの上田市内設置に関する考えはどうか。

答 (教育長) 夜間中学のニーズ、不登校児童生徒が増加傾向にあることから、子どもたちの学びの保障を考えたとき、信州オープンドアスクールもそれらの課題をカバーできる一つであり、県による設置が見込めない中、市による設置の可能性も含め研究しなければならない時期に来ていると考えている。

問 一部の小中学校で日本語の支援が必要な外国籍の児童生徒が増加し、今後も支援が必要な子どもたちが増加すると予想されるが、今後の対応はどうか。

答 (教育長) 学校からは支援員の派遣時間の増加要望があり、今後も支援が必要な児童生徒の転入が見込まれることから、支援員増員、派遣時間増加等の対応を検討していきたい。

【その他の質問項目】

- ・ 上下水道事業の持続性



生ごみ堆肥化施設は市民理解が得られるか

斉藤 達也 新生会

問 建設費が高騰する前の見積りでは、施設建設費が16億円、維持管理費が年間6,500万円と多額のコストであったが、その他の費用を含むフルコストはどのように捻出していくのか。また、生ごみの分別や収集袋の購入などの市民の負担や市の財政に与える影響等について、どのように市民の理解を得ていくのか。

答 (環境) 生ごみ分別収集の対象地域全域から

の収集運搬費は、概算で年間3,000万円から4,000万円程度になると想定している。コストの捻出については一般財源のほか、建設費では交付金や起債をできる限り活用し、運営維持管理費では生ごみ収集袋や生産される堆肥の販売による収入も充てる予定である。市民の理解については、説明会の開催等を通じ、施設が必要となる背景や取り組む意味、臭気を出さない確実な運営等の必要性や市の財政に与える影響について丁寧に説明し、理解や協力が得られるよう取り組んでいく。

^{*}信州オープンドアスクール・・・年齢、国籍、社会的立場などに関係なく、誰にでも開かれ、多様な人たちが共に学ぶ場。県内に設置することについて、今年度から県教育委員会が開催する信州オープンドアスクール創造会議で協議されている。



水道事業広域化

佐藤 論征 新生会

問 広域化した場合の水利権について、過去の一般質問では、水道企業団設立を考えており、企業団に引き継ぐことを想定との答弁であった。企業団に引き継ぐ以外の選択はあるのか。

答 (上下水道) 必要に応じて専門家等の意見を聞き検討していきたい。水道事業に携わってこられた先人の努力と地域の理解により現在の水源が確保されてきた経過を踏まえ、慎重に検討する。



子どもの権利が守られる社会

池上 喜美子 公明党

問 子ども関係の政策を考える際に子どもの意見を聴くという意識改革が重要だが、具体的にどう取り組むか。また、一つの手法として子ども議会を開催する考えはあるか。

答 (健康こども) 昨年度実施した第3次上田市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査は、新規に中高生に対して実施したほか、ワークショップでも高校生に加え

問 過去の一般質問において、水道事業を広域化し水利権が企業団に移った場合でも、これまでどおりの形で水道を提供することに変わりはないとの市長の答弁であった。水利権の歴史的な背景、先人の思いを重視、配慮し、広域化の検討に当たるべきではないか。

答 (市長) 過去の答弁において感謝が伝えられず申し訳ない。指摘を十分考慮し取り組んでいく。

【その他の質問項目】

- ・職員人事
- ・上田市地域エネルギー会社 株式会社サントエナジーうえだ

て小中学生にも参加いただいた。子どもたち自身の意見等を踏まえた計画になるよう取り組んでいきたい。

答 (政策企画) 現在策定中の第三次上田市総合計画でも市内の小中高生を対象にアンケート調査を実施し、4,300人を超える回答を得た。子ども議会については、子どもたちの思いを市政に反映し、市に関心を持ってもらう良い機会になるため、開催に向けて考えていく。

【その他の質問項目】

- ・ヤングケアラーの支援
- ・子どもの性被害防止



森林環境譲与税の活用

飯島 裕貴 新生会

問 森林環境税の個人課税が始まったが、森林環境譲与税の活用状況はどうか。

答 (産業振興) 基金を造成しながら、令和2年度から令和5年度まで全体で6,600万円余、森林経営管理制度に基づく私有林の整備に1,700万円、市有林の整備に2,800万円を充当した。今後は今年5月に策定した森林環境譲与税活用方針に基づき、森林整備、市独自の課題への取組等のテーマに沿って活用を

進める。

問 森林環境譲与税基金の積み立て、取り崩しはどのように考えているか。

答 (産業振興) 令和元年度から令和5年度までに2億2,500万円余の森林環境譲与税の交付を受け、昨年度末の基金残高は1億5,900万円余である。今年度は、現在改築工事を進めている第五中学校の内装木質化の財源として5,000万円余を取り崩し活用する予定である。

【その他の質問項目】

- ・未利用土地の活用



公共交通と キャッシュレス化

中村 知義 上志の風

問 令和8年の3月に上田駅に交通系ICカードのSuicaが導入されることが決まっているが、どのように考えているか。

答 (都市建設) 市内公共交通機関に交通系ICカードを導入することについては、効果と課題を見極めた上で慎重な判断が必要であることから、市では引き続きチケットQRを活用したキャッシュレス化を推進していきたい。

問 キャッシュレス化として、チケットQRを導入しているが利用状況はどうか。

答 (都市建設) 路線バスと別所線を合わせた利用率は、令和3年度は7.1%、令和4年度は13.2%、令和5年度は17.4%で推移している。令和5年度におけるアプリ及びプリペイドカードでの利用金額は、約7,900万円余となっており、市内公共交通機関におけるチケットQRの利用が定着してきている。

【その他の質問項目】

・都市計画税



未来に向けての組織体制

飯島 伴典 上志の風

問 上田市の将来の維持、発展に向けて市の組織体制をどのように評価しているか。2025年以降を見据えた最優先の政策と実現するための組織体制は十分か。

答 (総務) 社会保障分野をはじめ、地域産業、公共交通などさまざまな分野で施策の推進を図る必要がある。令和5年度の組織改正の影響や成果を検証し、新たに発生する行政需要にも的確かつ柔軟に対応できるよう、必要な

組織体制について検討を進めている。

問 公共施設の維持管理における市の組織体制及び包括管理委託方式の検討状況はどうか。

答 (総務) 本庁舎や南庁舎、交流文化芸術センターは総合管理業務委託を導入しており、その他の施設は所管部署が個別発注している。現在、複数の施設を対象とした包括施設管理業務委託導入に向け検討を進めている。

【その他の質問項目】

・姉妹都市・友好都市
・市の歳入状況



観光の取組

金沢 広美 公明党

問 今年7月に上田駅お城口水車前広場で行われたキッチンカー出店の社会実験の効果はどうか。また、出店のルール作りは考えているか。

答 (都市建設) 多くの人が集まる公共施設・空間でのキッチンカー出店にはぎわいの創出につながり、市も使用料が得られる公有財産の有効な活用策と考える。各種団体と連携をし、道路、広場等の活用に向けたルール作りを部

局横断的に研究していきたい。

問 第三次上田市総合計画における観光の位置付けはどうか。また、戦略的に観光振興を図る新たな観光ビジョン策定の考えはあるか。

答 (文化スポーツ) 魅力ある観光づくりについて、中長期的な市の方針を明確にした計画となるよう取り組んでいる。より具体的な方策を示した観光ビジョンは、観光施策を進める上で有効であると認識しており、計画の策定に併せ、どのような形で策定していくか研究していきたい。



有機物リサイクル 施設整備

高田 忍 社志会

問 生ごみ分別収集区域の設定根拠は何か。

答 (環境) 上田地域においては人口が集中している中心市街地の用途地域と、人口集中地区として設定のある自治会のうち、居住地域のおおむね8割以上を占める自治会を自己処理が困難な地域として設定した。また、丸子地域は施設周辺から排出される生ごみが施設周辺の農地で活用されるよう循環利用の観点か

ら、建設地周辺の長瀬、塩川の全自治会を設定した。

問 地歴調査の結果はどうか。

答 (環境) 調査の結果、建設地の一部の盛土に重金属が含まれていることが判明した。この盛土は産業廃棄物として撤去した。

問 地元業者の育成と活用に向け市内の臭気対策事業者からアドバイスや意見を取り入れる考えはあるか。

答 (環境) 臭気対策が最も重要である。臭気対策を講じている民間事業者を今後事業を進める中で参考にしたい。



上田長野間水道事業 広域化計画

尾島 勝 新生会

問 水道水からPFAS^{ビーフラス}(有機フッ素化合物)が検出され全国で社会問題となっているが、水道事業広域化協議会に参加している長野市で国の目標値以上のPFASが検出されている。企業団の一員となれば上田市もリスクを負うが、リスクに対する考えはどうか。

答 (市長) その水を上田市民が飲むことはない。当然企業団としてリスクを負うことになる。

長野市でしっかりと対応しているので、その取組を注視していく。

問 上田市から長野市への新たな送水管の上田市の布設ルートはどこか。

答 (上下水道) 諏訪形浄水場～県営上田長野線三好町交差点～長野県営上田野球場前～上田大橋下流側にて千曲川横断～塩尻地区の市道～しなの鉄道西上田駅南口前～国道18号～坂城町の布設ルートを想定している。工事の際には、河川管理者等との事前協議や地域の方の工事に対する理解を得る必要があるため、ルートの見直しも想定される。



水道事業

村越 深典 社志会

問 各地区の水道水を比較して、市民等からさまざまな問題提起がされているが、広域化した場合においても染屋浄水場の浄水方法や市内の各種水源など、先人が残した良質で安全安心な水道水を今後も永続的に守り育てていくことについて見解はどうか。

答 (市長) 現在の上田市営水道の根幹をなす施設や水源の確保などは、先人の尽力のたまものと心から感謝している。

特に染屋浄水場は、創設当時から緩速ろ過方式による浄水に取り組み、県内において緩速ろ過方式の浄水場としては最大規模の大変誇れる施設である。今後とも浄水方法は緩速ろ過方式を継続していく。先人が残した良質で安全安心な水道水を今後も永続的に守り育てていくことは当然のことと認識している。

【その他の質問項目】

・農業経営基盤強化のための地域計画



いのちを守るための 情報管理や体制整備

矢島 昭徳 上志の風

問 災害時の市民への情報提供の対応はどうか。

答 (総務) 総合防災情報システムを導入し、一元的に情報発信する体制を整備している。防災訓練の実施や自治会役員へのメール配信訓練等を継続的に進め、情報配信体制の強化に向け取り組んでいく。

問 災害の多様化に対応する体制整備をどのように考えているか。

答 (総務) 自助、共助、公助が一体となった体制構築が重要で、地域と関係機関及び関係団体と連携し、災害対応力の強化を進めていく。

問 災害復旧にどのように対応しているか。

答 (都市建設) 職員による被災箇所の状況把握を行い、上田市防災支援協会に応急的な措置を要請し、市民生活への影響が最小限になるよう対応している。

【その他の質問項目】

- ・スポーツ施設整備



民生児童委員の 担い手確保

石合 祐太 新生会

問 令和4年の民生児童委員の斉改選で全国では定員より1万5,000人不足し、戦後最大の欠員となっているが市の状況はどうか。

答 (福祉) 上田市の民生児童委員の定数は、主任児童委員数を含め333人である。本年9月1日現在で330人が委嘱されており、定員充足率は99.1%である。平均年齢は69.7歳、平均在任期間は3年5カ月である。

問 役割や相談を受けた際の対応が不明なことから就任をちゅうちょされるケースがあると聞かすが、民生委員経験者や次に就任される方にサポート役についていただくことを検討できないか。

答 (福祉) 業務負担軽減のため見守り活動の補佐を行う民生委員協力員制度を国が示しており、次回の令和7年の民生児童委員の改選に併せて、設置について検討していきたい。

【その他の質問項目】

- ・大規模災害対策
- ・福祉有償運送
- ・地方自治法の改正に関する見解



路線バス・地域バス

古市 順子 日本共産党上田市議団

問 運賃低減バスの効果は子育て支援、観光誘客等に及び、上田市の魅力の一つとなっている。見直しに当たり、導入の目的を損なわないように慎重に検討すべきだが見解はどうか。

答 (都市建設) 消費税の引き上げや燃料費等の高騰が事業者の経営を圧迫しており、利用者負担の在り方を検討する必要がある。高齢者への配慮等の必要性など、高頻度利用者の負担の在り方についても検討を進めたい。

問 市街地循環バス、オレンジバス、丸子・武石デマンド交通の費用対効果の検証が必要ではないか。

答 (都市建設) 運賃収入を運行経費で除した収支率の令和5年度の実績は、市街地循環バス約14%、オレンジバス約0.2%、丸子デマンド交通約9%、武石デマンド交通約8%である。必要な見直しと改善に取り組みたい。

【その他の質問項目】

- ・地域内交通とタクシー事業の活用
- ・別所線



株式会社サント エナジーうえだ

堀内 仁志 上志の風

問 具体的な事業内容の中で、どのような点をPRしていきたいか。

答 (環境) エネルギーの地産地消を推進するためのPPA事業やエネルギーマネジメント事業、別所線の運行に必要な電力の約90%を賄える自営線マイクログリッド事業の実施により、再生可能エネルギー100%によるゼロカーボン運行が実現することは大きなPR

ポイントと考えている。

問 今後、太陽光発電エリアの拡大と他の再生可能エネルギーを導入する考えはあるか。

答 (環境) 対象エリアの拡大は、まず5年間の計画事業を着実に実施することで経営基盤を固めることに注力すべきと考えており、進捗状況を踏まえて検討したい。また、地域の特性を生かす観点から、将来的には小水力発電などの可能性について検討していきたい。

【その他の質問項目】

- ・市の正規職員の増員



旧市民会館の解体

原 栄一 社志会

問 今年度、上田城跡整備事業として旧市民会館解体に向けた予算が計上されたが、今後どのような計画で解体工事を進めていくのか。

答 (都市建設) 現在、解体工事の実施設計が完了し、文化庁と史跡の現状変更許可申請に向けた協議を進めている。工事期間は1年半程度を見込んでおり、令和8年度にかけて実施する解体工事に係る事業費について債務負担行為を設定する。

問 上田城跡公園内の桜に老木が目立つようになったが、成木の育成はどのように考えているか。

答 (都市建設) 本丸堀周辺には樹齢90年を経過していると思われる老木もあり、樹木医と共に管理をしている。今年の秋には、全国的に桜の名所で知られる青森県の弘前公園の桜の管理体制等を現地視察する予定である。

【その他の質問項目】

- ・新型コロナウイルス感染症への対応



選ばれる都市になるための シティブランディング

武田 紗知 上志の風

問 策定から5年がたつ上田市シティプロモーション推進指針の事業成果をどう検証しているか。

答 (文化スポーツ) 現在、目標値や効果測定等の設定はしていない。今後の指針策定に当たっては、プロモーションに関する意識を把握し、施策に反映していきたい。

問 上田市らしさを表すメッセージをタグライン

として設定してはどうか。

答 (文化スポーツ) 上田市が独自のブランドメッセージを掲げることができ、訪れた人々や市民に深い印象を与えることができ、印象的なタグラインは市民にとってシビックプライドを醸成する効果もあり、市全体として前向きな行動変容を促すことが期待される。今後のシティプロモーションを推進する上で大切なことであり検討していく。

【その他の質問項目】

- ・市道及び市道周辺の維持管理



上田市の少子化対策

土屋 勝浩 新生会

問 縁結びプロジェクトの成果はどうか。また、他地域との連携やイベントの広域開催を検討する考えはあるか。

答 (市民まち) 成婚数は正確に把握できていないが、直近5年の多い年で3件程度である。事業の在り方は、県の事業との連携も含め他の自治体との情報交換も必要であり、今後の課題として検討したい。

問 子育ての負担を軽減するため、3世代住宅新

築リフォーム補助制度を導入できないか。

答 (都市建設) 3世代が同居や近居することにより、子育て世帯を支援することにつながる。今後、庁内関係部局と連携しながら研究していきたい。

問 少子化対策を進めるため、部局横断のプラットフォームを設置すべきと考えるがどうか。

答 (市長) 少子化対策には各部署との連携が大変大切である。少子化対策プロジェクトをきっかけとして整えた政策企画課を中心に部局横断体制で取り組んでいく。



農業従事者確保に向けた環境整備及び儲ける農業への支援策

松山 賢太郎 社志会

問 現状では支援策が乏しいUターン農業継承者に対し、支援金制度を検討できないか。

答 (産業振興) 市の単独事業の担い手農家育成定着支援事業により、農業機械、生産資材等の購入に、その2分の1以内、200万円を限度とし1回に限り補助している。農業継承者支援は国や県でもなかなかない。まずは認定農業者等の国の支援対象に移行できるよう

県やJAと支援する。

問 農業関係者から長年要望が多い農産物加工施設建設についての見解はどうか。

答 (産業振興) 農業の6次産業化には食品衛生法に基づくHACCP^{ハサツプ}に沿った衛生管理対応が必要で、営業許可を取得し加工製品を販売するには衛生管理の責任明確化の条件整備や運営体制の構築等課題も多い。さらに施設設置に係る収益の問題もあり、現在市では施設整備は計画していないが、6次産業化の推進について、商品試作や商品化、ブランド構築等の相談窓口の案内等の支援をしている。



水道事業の広域化

井澤 毅 新生会

問 上田市独自の財政シミュレーションはいつ公表するのか。それは市民が見て、比較や判断ができる内容になっているか。

答 (上下水道) 10月中の公表を目途に作業を進めている。比較も含めて適切に説明し、市民に理解いただけるよう努めていく。

問 広域化を最終的に判断する時期はいつか。

答 (上下水道) 年度内を目標に決定したい。

問 合併と同じと言われる水道事業の広域化であ

る。市独自の財政シミュレーションを公表してからわずか数カ月しかない年度内の判断は非常に無理がある。十分な検討を行わずに判断するようなことがあってはならない。上田長野地域水道事業広域化協議会において、上田市からスケジュールの見直しを提案する考えはあるか。

答 (上下水道) まずは、市民、上下水道審議会、市議会等へ説明を尽くし、意見を聴取していきたい。検討に時間を要すると判断する場合には、構成団体と協議をしていきたい。



〔仮称〕道の駅まるこ

松尾 卓 公明党

問 多くの道の駅が老朽化への対応や地域における役割を新たに位置付け施設の更新をし、第3ステージへの転換を図っている。計画中的「〔仮称〕道の駅まるこ」の独自性や他施設との差別化についての考えはどうか。

答 (丸子センター) 地域住民、地元団体、民間事業者、学校と連携し、まちぐるみで議論する道の駅整備準備委員会を設置し、戦略的な仕掛けによる独自の魅力を提供する道の駅を

目指す。

問 「〔仮称〕道の駅まるこ」整備に当たり、国の財源を確保する必要がある。普遍的な課題である防災に特化し、次のステージと想定される防災道の駅を目指す考えはあるか。

答 (丸子センター) 防災道の駅に対して国のハード・ソフト両面の支援があり、交付金支援等が含まれている。「〔仮称〕道の駅まるこ」は県と共に取り組んでおり、防災道の駅選定要件について情報収集し調査研究するとともに、県との協議・調整を進めていく。



中学校部活動の地域移行

宮下 省二 社志会

問 中学校部活動の地域移行は学校改革と社会改革の両面を有するが、実施はいつか。

答 (教育長) 戦後の日本の学校教育にあって大きな改革であり、教育委員会、生徒や保護者、教職員、地域住民、関係団体の意識改革が求められる。すでに活動している総合型地域スポーツクラブや地域の協力で動き出した中学校もあり、条件の整ったところから移行し、令和8年度末までに完了したい。

問 学校の職務を地域移行する場合、教育長自ら地域に入り依頼する必要があると考えるがどうか。

答 (教育長) 私自身も校長会やPTA、関係団体の会合で地域移行の意義を説明し、理解と協力を求めている。

問 生徒数が違う各中学校が同一条件で一斉に地域移行することは難しいと考えるがどうか。

答 (教育長) 全市統一的にスタートする方法を模索したが、一律の基準で一斉に進めることは難しい部分が多いと捉えている。



国民健康保険と資格確認書

泉 弥生 日本共産党上田市議団

問 今年の12月2日から現行の紙の健康保険証が廃止されるが、国会では「申請がない場合もプッシュ型で対象者に資格確認書を送付する」と答弁があった。市の対応はどうか。

答 (健康こども) 県から発出された通知にある本人の申請によらず職権交付される具体例に従い資格確認書を発行する予定である。

問 全国知事会、全国市長会などは、国民健康保

険における国庫負担の増額を政府に要望し、公費を1兆円投入し協会けんぽ並みの負担率にすることを求めている。国庫負担についてどう考えるか。

答 (市長) 制度の趣旨を踏まえても大切である。全国市長会でも重点提言として国へ要望等を行っている。県をはじめ他市と連携し、被保険者の負担軽減や国保の安定的な運営につながるよう機を捉えた取組を進めたい。

【その他の質問項目】

- ・学校プールの注水管理等
- ・生理の貧困



ドローン等の可能性のさらなる醸成

齊藤 加代美 新生会

問 ドローンの災害活用及び消防団の導入状況と練習場確保はどうか。

答 (総務) 令和2年度に市内の有限会社ヒカリと災害時の応援協定を締結し、災害時のドローンの活用を迅速に進めるため、協定先と緊急連絡網を整備し、映像伝送等の実働訓練を実施している。消防団のドローンの保有は、今年6月末現在で5個分団に6機で、各分団

独自に導入している。公費で消防団にドローンを導入する計画はないが、今後訓練施設が確保できるよう消防団と調整していきたい。

問 ドローン特区の認定に挑戦してはどうか。

答 (武石センター) 今年度、武石地域の居住エリアの約8割が3Dデータ整備済みとなる計画で、自動運転による高精度なドローンの活用が可能となる。DX推進課を中心にドローン特区の有効性を検討していきたい。

【その他の質問項目】

- ・ 公共施設マネジメントと西内・平井・東内地区等における公民連携
- ・ 女性支援新法における民間団体との協働



太郎山山麓の沢の環境問題

西沢 逸郎 社志会

問 市が実施した水質検査の内容はどうか。

答 (環境) 8月23日、29日に当該水路の下流域等で水質検査を実施した。検査結果における大腸菌数は高い数値ではなかったが、今後も引き続き水質検査等を行い、必要な対策を講じていきたい。

問 上田地域振興局環境課の今後の対応はどうか。

答 (環境) 住民団体による水質検査の採水地点

より上流にある水質汚濁防止法に基づく特定施設設置届け出のある事業場からの排水について水質検査を実施するとしている。

問 汚染原因を究明し、負荷削減対策を講じる必要があると考えるがどうか。

答 (環境) 県及び市関係部局とも連携して原因究明を図り、市民の安全安心と生活環境の保全に努めていきたい。

【その他の質問項目】

- ・ 水泳の授業
- ・ 室内プールの整備
- ・ 一般質問等における提言に対する検討状況

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

9月定例会本会議の傍聴者数は延べ25人でした。
傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- 机上での話し合いで、現場を見てるのかなと思いました。
- 行政の現場を動かしていく市の職員の尽力に思いをはせる機会をいただきました。
- 議事の内容を興味深く注視していきたいと思えます。
- 傍聴に来てほしいのであれば、日曜日も開催してください。

皆さんからの請願・陳情 6 件を審査

請願

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第 6 号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める請願	女性差別撤廃条約実現アクション上田ともし火 磯野 仁美氏 (紹介議員：宮下 省二議員 斉藤 達也議員)	採択

※関連する意見書は P 5 に掲載

陳情

陳情番号	件名	提出者	審査結果 (付託委員会)
陳情第 4 号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子氏	不採択 (教育厚生委員会)
陳情第 5 号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情	長野県社会保障推進協議会 代表委員 小林 吟子氏	不採択 (教育厚生委員会)
陳情第 6 号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	長野県社会保障推進協議会 代表委員 小林 吟子氏	不採択 (教育厚生委員会)
陳情第 7 号	乳幼児（0 歳児～満 3 歳未満児）に係る養育費用の負担軽減に関する陳情	福澤 貴氏	不採択 (教育厚生委員会)
陳情第 8 号	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫氏	不採択 (教育厚生委員会)



うえだ市議会だより
第100号への

メッセージ募集

(募集の経緯は P 20 をご覧ください)

応募方法

12 月 16 日（月）までに、次のいずれかの方法により上田市議会事務局へお寄せください。

- ① 専用フォーム（右記二次元コード）
- ② 電子メール（gikai@city.ueda.nagano.jp）
- ③ 郵送（〒 386-8601 上田市大手 1-11-16 議会事務局）
- ④ F A X（0268-23-5136）
- ⑤ 持参（上田市役所本庁舎 5 階）

応募はこちら



記入いただく内容

- ① 紙面に掲載するお名前（氏名またはペンネーム）
- ② 年代（例：30 代）
- ③ お住まいの自治会
- ④ メッセージ（25 文字以内）

「市議会だよりの感想」や「皆さんが考える上田市の未来の姿」などテーマは自由です。

記入例：「毎回工夫された表紙が楽しみです」、「子どもたちが地域を好きになり、上田をつくる」

※郵送に係る費用は、提出者のご負担となります。

※年代、自治会は紙面に掲載しません。読者層把握のためご記入ください。

※お寄せいただいたメッセージ全てを掲載できない場合があります。

※個別の要望、質問にはお答えしませんのでご了承ください。

!! お聞きします!!
皆さんの声

令和6年度 議員と語ろう

テーマ別車座集会開催

参加者
募集中!

委員会ごとに設定したテーマに沿って、参加者から直接意見をお聴きする車座集会を開催します。ご参加お待ちしております。

総務委員会

- ・日 時 令和7年1月20日(月) 午後7時～午後8時30分
- ・場 所 市役所本庁舎5階 大会議室
- ・テーマ 公民連携によるサステナブルなまちづくり
～日置電機株式会社のカーボンニュートラル事例を交えて～

産業水道委員会

- ・日 時 12月17日(火) 午後6時30分～、午後7時～、午後7時30分～
12月19日(木) 午後6時30分～、午後7時～、午後7時30分～
12月21日(土) 午前10時～、午前10時30分～、午前11時～
- ・場 所 市役所本庁舎1階 大手ラウンジ
- ・テーマ 1 水道事業広域化
2 「(仮称)道の駅まるこ」ほか公共施設の維持管理
3 産業水道委員会が所管する市の部局に関すること
- ・その他 1 枠20分とし、個人または団体と個別に懇談をします。
申し込みの際はご希望の日時とテーマを選択してください。(先着順)

教育厚生委員会

- ・日 時 令和7年2月1日(土) 午後2時～午後3時40分
- ・場 所 市役所本庁舎5階 大会議室
- ・テーマ 人生100年時代をより良く生きる健康づくり ～運動と健康～

環境建設委員会

- ・テーマ 地域新エネルギーについて(仮)
- ※日時、場所、実施方法等については未定です。

○申し込み【3委員会共通】

12月13日(金)午後5時までに、専用フォーム(右記二次元コード)または上田市議会事務局へ電話(0268-22-0452)にてお申し込みください。

申し込みはこちら



令和6年度の議会報告動画の配信は、12月ごろを予定しています。配信情報は市議会フェイスブック、エックスにてお知らせします。

うえだ市議会だよりが第100号を迎えます!



市議会だよりにメッセージを寄せてみませんか。

平成18年6月に創刊された市議会だよりが令和7年2月に第100号を迎えます。これを記念して、市議会だより第100号へ掲載する市民の皆さんからの一言を募集します。たくさんのメッセージをお待ちしています。応募方法はP19をご確認ください。

P19へ

編集後記

決算審査では、前年度の予算が適正に使われたか、効果がどの程度あったかなどを審査し、改善点の指摘を行います。その議論は今後の予算編成に生きてくるため、決算審査は非常に重要なものです。

今号の表紙には、菅平高原スポーツランド(サニアパーク菅平)と菅平高原アリーナが上田市として初となるネーミングライツ契約をスポーツブランド「アンダーアーマー」の日本総代理店である株式会社ドームと締結したことから、現地の様子を掲載しました。

求められる施策を進めるには財源が必要です。戦略的な歳入増加策を進めることに市議会としても引き続き全力で向き合っています。

広報広聴委員

古市 順子
石合 祐太

